

調査レポート



とうほう地域総合研究所
エコノミスト

嵐 俊勝

生産性向上・人材に関する県内企業の取組状況について ～「2025年生産性向上・人材採用育成に関する」アンケート調査から～

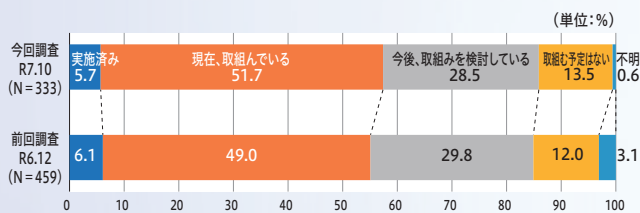
人口減少や経済環境の変化に伴い、企業の持続的な成長を支えるためには、生産性の向上と効果的な人材育成が不可欠となっている。特に地域経済の活性化において、地元企業の競争力強化は重要な課題となっている。

このような状況において、アンケート調査の結果を中心に、県内の生産性向上の取組みや人材の採用・育成の状況を考察した。

I. 生産性向上について

1. 生産性向上への取組み状況

「実施済み」「現在、取組んでいる」を合わせた割合は5割台で年々その割合は増加、半数以上の企業で生産性向上のために何らかの取組みを行っている。「今後、取組を検討している」企業も含めると、8割以上の企業が生産性向上への取組みの必要性を認識している。



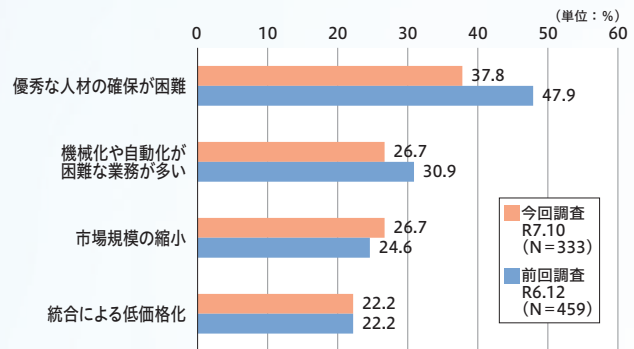
2. 生産性向上に向け実施していること

製造業は、「設備投資」が5割台に達しており、新規顧客の開拓、販路開拓よりも、コスト削減、効率化のため設備投資に力を入れていることがうかがえる。一方、非製造業は、人材育成に最も力を入れている。

	高付加価値の新商品・新サービスの開発	既存顧客のニーズを深堀	既存取引先の見直し・整理	仕入れコストの削減 (共同仕入れ等)	新規顧客の開拓、販路開拓	設備投資(生産数増加、コスト削減、省力化、効率化、省エネ等)	人材育成(技術の向上、多能工化、モチベーションの向上)	業務効率化・見直し・定型化 (マニュアル整備等)	経営コンサルタント・専門家に よる指導	n =
全体 (333)	17.4	21.9	17.1	22.2	30.0	31.8	39.3	30.0	7.5	
2025年 製造業 (74)	21.6	18.9	20.3	25.7	28.4	52.7	37.8	31.1	9.5	
非製造業 (254)	15.7	22.8	16.1	21.3	30.7	25.6	39.4	29.9	7.1	
不明 (5)	40.0	20.0	20.0	20.0	20.0	40.0	60.0	20.0	0.0	

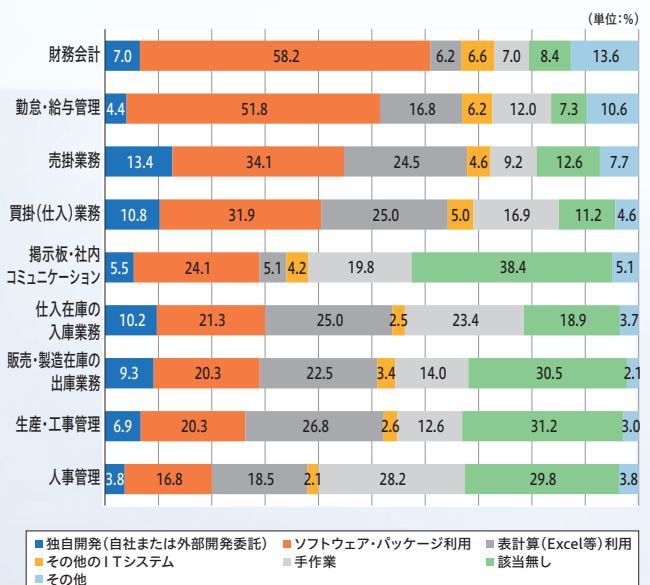
3. 生産性向上を進めるにあたっての課題 (上位4項目)

生産性向上を進めるにあたっての課題は「優秀な人材の確保が困難」が37.8%で最も多い。前回調査と比較すると「優秀な人材の確保が困難」「機械化や自動化が困難な業務が多い」は減少しており、一部改善もみられる。



4. 自社業務での IT 活用状況

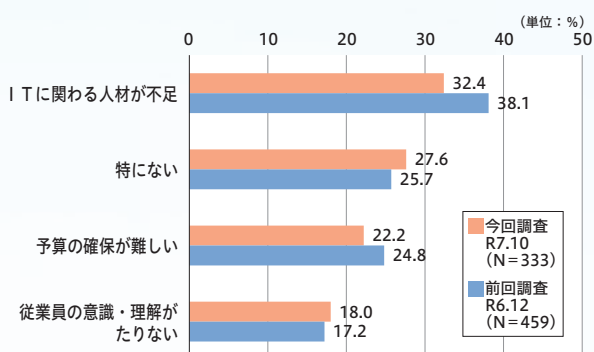
「人事管理」「仕入在庫の入庫業務」等では、手作業の割合が2割を超えている。ソフトウェア・パッケージ利用等が進む「財務会計」「勤怠管理」業務でもいまだ一部手作業等での対応がみられ、各業務で IT 活用の余地があると思われる。



5. 自社の IT 活用にあたっての課題 (上位4項目)

自社の IT 活用にあたっての課題で最も多いのは「IT に関わる人材が不足」が32.4%、次いで「特にな

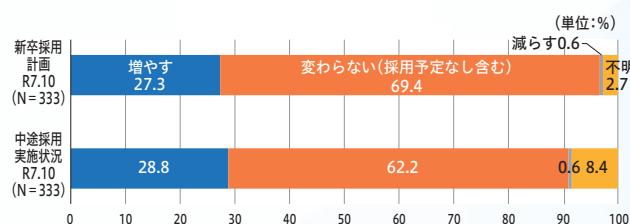
い」が27.6%、「予算の確保が難しい」が22.2%などと前回同様の順となっている。



Ⅱ. 人材採用・育成について

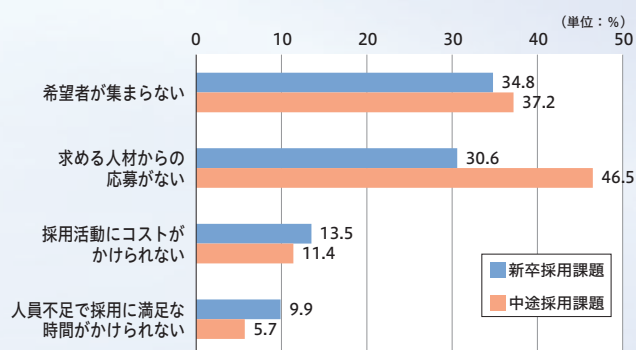
1. 新卒採用計画・中途採用実施状況 (前年比)

新卒、中途採用とも、多くの企業が現状の人員体制を維持している。人口減少や人手不足、経済環境の不透明さもあり大幅な採用増加は難しく、採用に慎重な姿勢がうかがえる。



2. 新卒・中途採用面での課題 (上位4項目)

人材採用における課題は、新卒採用が「希望者が集まらない」が最も多く、中途採用は「求める人材からの応募がない」が最も多くなっている。希望者が集まらず、求める人材からの応募がないことが人材採用の大きな課題である。



3. 人材育成の取組状況

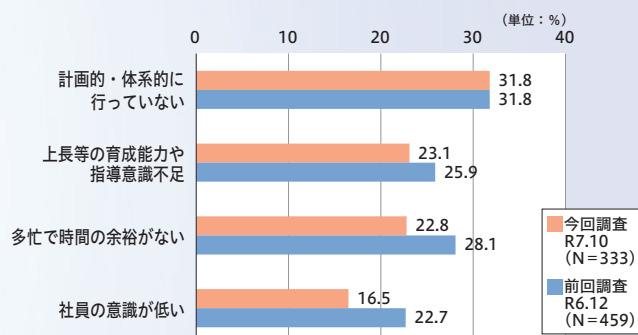
人材育成の取組み状況は全体で「OJT（業務内での指導等）」が約5割で最も多く、次いで「社内での集合研修」、「外部の集合研修への派遣」の順となっている。

業種別にみると製造業は、実務を通じて技能やノウハウを直接習得できるOJTの割合が7割弱と、非製造業と比べて多くなっている。非製造業は、「自己啓発の促進」は2割程度であるが、製造業と比べ約2倍になっている。

		OJT(業務内での指導等)	社内での集合研修	外部の集合研修への派遣	自己啓発の促進	外部の通信教材等の活用	その他	不明
全体	(333)	52.0	27.6	26.4	20.4	8.7	5.7	20.1
2025年								
製造業	(74)	68.9	24.3	23.0	12.2	4.1	5.4	13.5
非製造業	(254)	46.5	28.0	27.2	22.8	10.2	5.9	22.0
不明	(5)	80.0	60.0	40.0	20.0	0.0	0.0	20.0

4. 人材育成の取組みにおける課題 (上位4項目)

人材育成の取組みにおける課題は「計画的・体系的に行っていない」が最も多くなっている。その他に育成能力・指導意識不足や、多忙による時間不足、社員の意識が低いなどさまざまな課題がある。



Ⅲ. さいごに

現在の経済環境において、企業の持続的な成長と競争力強化の鍵をにぎるのが、「生産性向上」と「人材育成」である。そのためには、企業側はIT導入・業務改善で生産性を高め、リスクやキャリア開発などを通じて人材育成を進めることが重要になってきている。国や自治体においては、IT導入補助金や研究開発支援による「生産性向上支援」と、リスクや多様な働き方支援による「人材育成支援」を行うことで、地域企業の持続的な成長を後押しすることを期待したい。

アンケート対象者

調査時期	発送先	回答数	回収率
R7/9～R7/10	1,343先	333先	24.8%
R6/12～R7/1	1,412先	459先	32.5%